

# Hello! FUJISEI

No. 112

## 老後はどのように暮らしますか？

# 増え続けている！ 65歳以上の単独世帯

「長寿」という言葉とは裏腹に、医療・介護などの問題にどう対処するのか、長くなった老後生活には多くの課題が待ち受けています。

厚生労働省の「平成23年 国民生活基礎調査の概況」によると、平成23年6月2日現在における我が国の世帯総数（岩手県、宮城県及び福島県を除く。以下、同じ）は4668万4千世帯でした。

世帯構造別にみると、「夫婦と未婚の子のみの世帯」が1444万3千世帯（全世帯の30.9%）で最も多く、次いで「単独世帯」が1178万7千世帯

（同25.2%）、「夫婦のみの世帯」が1057万5千世帯（同22.7%）となっています。

世帯類型別にみると、「高齢者世帯」（65歳以上の者のみで構成するか、これに18歳未満の未婚の者が加わった世帯）は958万1千世帯（全世帯の20.5%）でした。

また、65歳以上の人のある世帯は1942万2千世帯（全世帯の41.6%）となっています。

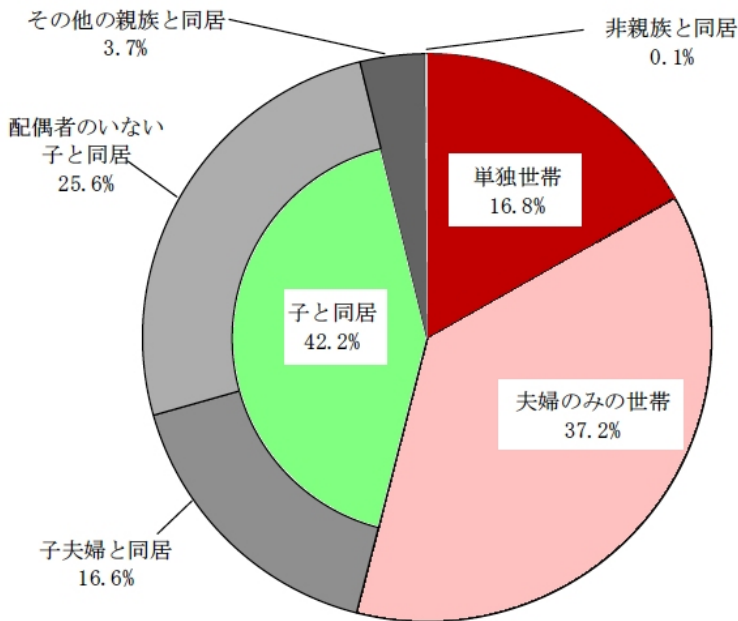
これを世帯構造別にみると、「夫婦のみの世帯」が581万7千世帯（65歳以上の人のある世帯の30.0%）で最も多く、次いで「単独世帯」が469

万7千世帯（同24.2%）、「親と未婚の子のみの世帯」が374万3千世帯（同19.3%）となっています。

65歳以上の人を家族形態別にみると、「子と同居」の者が1179万9千人（65歳以上の者の42.2%）で最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」（夫婦の両方または一方が65歳以上）の者が1041万3千人（同37.2%）、「単独世帯」の者が469万7千人（同16.8%）でした。

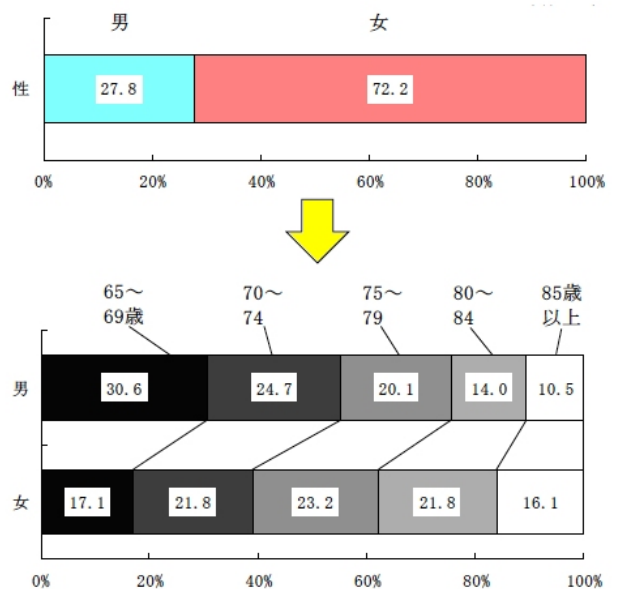
「単独世帯」について、性・年齢階級別にみると、男性は「65～69歳」が30.6%、女性は「75～79歳」が23.2%で最も多くなっています。

家族形態別にみた65歳以上の者の構成割合



厚生労働省「平成23年 国民生活基礎調査の概況」

性・年齢階級別にみた65歳以上の者の単独世帯の構成割合



(注) 岩手県、宮城県及び福島県を除いたもの。